

越前生漉鳥の子紙保存会関係の一部活動を紹介

平成 27 年 3 月 27 日 保存会設立

3 月 28 日 鳥の子紙の原料となるガンピの苗を植樹



5 月 31 日 越前和紙組合、越前生漉鳥の子保存会、総勢 20 名で敦賀の中村さんの山に入り、原料のガンピを採取。



6 月 24 日 第 23 回ロマン講座で、河野徳吉✕石川満夫「鳥の子ってなあに？」・鳥の子談義 開催

文書に現れた鳥の子をたどり、その歴史・製造法・用途などを探る



8 月 18 日 本美濃紙保存会へ視察研修会

8 月 26 日 鳥の子の歴史研修会 講師 「石川満夫」

9 月 8 日 技術継承の事業が始動。木灰を使って PH 11.4 のアルカリ溶液を抽出。その液を使って雁皮 12kg を煮る作業。



9 月 10 日・20 日 雁皮の塵取り研修会



9 月 17 日 雁皮の叩解の研修会



9月18日 原料の雁皮の増殖法と栽培についての研修会 講師「今井三千穂」



9月18日・10月4日 原料である雁皮を使って、鳥の子の紙漉き研修会



11月8日 原料の雁皮の種採取



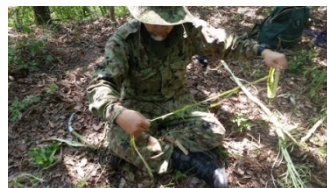
11月・平成28年3月 準会員・研修生の自己研修会実施。成果品の作成

平成28年3月19日 原料の雁皮の種まき



5月22日 ガンピ採取（敦賀の中村さんの山）

20名



6月11日 鳥の子紙漉き研修 乾燥研修 10名



6月13日 江戸時代の鳥の子紙実地研修会 10名



6月18日 鳥の子紙漉き研修 乾燥研修 10名



6月26日 鳥の子紙漉き研修 乾燥研修 15名



7月3日 鳥の子紙漉き研修 乾燥研修 13名

10月～ 雁皮の皮こき作業研修（個人研修）

10月29日 原料の煮熟研修 5名

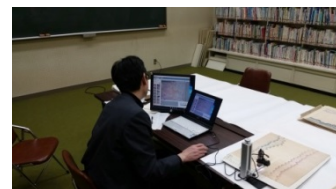


11月～ 雁皮の塵取り

平成29年1月22日 鳥の子紙漉き研修 乾燥研修 10名

2月25日、2月26日 越前生漉鳥の子紙調査の実施（今立図書館）

調査員に宍倉佐敏氏、日野楠雄氏、名児耶明氏、高木厚人氏の4名に依頼し、江戸時代の鳥の子の非破壊繊維分析とDMS撮影から考察する紙の漉かれ方などの評価作業を実施（約10点の調査を行う）





2月25日 ロマン講座「江戸時代の鳥の子 - 非破壊繊維分析からの考察」の講演会開催（今立図書館）
講師 宍倉佐敏氏 日野楠雄氏 参加者 50名



2月26日 「加飾紙の種類と時代」として、鳥の子を使った加飾の紙についての研修会を実施。（パピルス館）
講師 名児耶明氏（五島美術館副館長） 参加者 20名



3月9日 原料の叩解研修 5名

3月12日 雁皮の種まき研修 講師「今井三千穂」 15名



午後より、鳥の子紙漉き研修 乾燥研修

3月17日・18日 文化庁の現地調査及び意見交換会

3月19日 雁皮の栽培研修 講師「今井三千穂」 10名

5月21日 ガンピ採取（美浜市菅浜地区）

6月11日 ガンピ皮こき研修

6月17日 和紙文化研究会の講演会「和紙文化パネル workIV」に講師として、石川浩理事長参加。テーマ「打雲製作の伝承と実際」
保存会の活動を紹介するため、柳瀬会長と五十嵐副理事長も参加

6月18日 ガンピ皮こき研修

6月25日 ガンピ塵取り研修

7月18日 紙漉き研修